

システム・IT導入で 現場が崩壊する会社と 生産性2倍になる会社の 決定的な違い

～ 製造・物流・サービス業のための業務改革実践ガイド ～

対象読者

中小製造・物流・サービス業の経営者・IT推進担当者

発行

Creative Quest Lab

目次

01	中小製造業のITシステム導入の現実データ	P.3
02	現場が崩壊するIT導入の3つの失敗パターン	P.3
03	生産性2倍を実現する「現場起点のIT設計」5ステップ	P.4
04	活用事例：C社（印刷業・従業員55名）	P.4
05	Smart Operations Designプログラムのご紹介・無料診断のご案内	P.5

本ホワイトペーパーについて

本資料は、Creative Quest Labが中小企業経営者・IT推進担当者の皆様に向けて作成した実践ガイドです。掲載の統計データは公開情報をもとにした参考値です。事例の固有名詞は仮称を使用しています。

現実データと3つの失敗パターン

■ 中小製造業のITシステム導入の現実

75%

IT導入に関心があるが未着手の中小製造業
経産省調査参考値

45%

過去のシステム導入で失敗経験あり
各種調査参考値

3倍

要件定義を実施した企業のプロジェクト成功率（未実施比）
本調査推計

70%

「現場不在の導入」が失敗原因と回答した企業
本調査推計

■ 現場が崩壊するIT導入の3つの失敗パターン

01 ベンダー丸投げ型

提案書を見ただけで発注し、要件定義をせずに進める。結果、現場が使わないシステムが完成する。

提案書のみで発注 → 要件定義なし → 使われないシステム完成

02 全体一括導入型

全工程を一度にデジタル化しようとするため変化量が大きく、現場が対応できず生産性が一時的に大幅低下する。

全工程一括デジタル化 → 現場が対応できず混乱 → 生産性が一時大幅低下

03 現場不在型

IT部門・経営者だけで設計するため、現場の実態と要件がずれる。導入後6ヶ月でシステムが放棄される。

IT部門・経営者のみで設計 → 現場と要件がずれる → 半年後にシステム放棄

成功の5ステップと活用事例

生産性2倍を実現する「現場起点のIT設計」5ステップ

- STEP 1** 非効率ポイントの特定：業務プロセスの無駄をデータ化可能な工程で特定し、改善優先度を数値化する
- STEP 2** 要件定義のドキュメント化：現場担当者と経営者の両視点でシステム要件を文書化し、認識のずれをなくす
- STEP 3** ベンダー客観選定：RFI/RFP作成と評価シートにより、感覚ではなく基準でベンダーを比較・選定する
- STEP 4** 小規模PoCで検証：一括導入ではなく小規模PoCから始め、リスクを最小化しながら効果を確認する
- STEP 5** アジャイルで段階展開：工程ごとに現場定着を確認しながら拡大し、形骸化させない

活用事例

C社（印刷業・従業員55名）

受注～納品～請求の各工程でExcel手入力・転記作業が慢性化。担当者一人あたり月40時間以上が定型業務に取られ、コア業務に時間を使えない状態だった。RPA・GAS・BIツールを組み合わせたBPRで抜本改善。

課題の核心：受注情報をExcelに手入力→生産指示書を手作成→完了報告を手集計という流れで、工程ごとに転記ミスが発生。月次報告に2日を要し、ミスによる手戻りが月8件発生していた。要件定義を現場担当者と共同で実施し、段階的に自動化を展開。

項目	Before（支援前）	After（BPR実行後6ヶ月）	改善率
月次報告作成工数	2日（約16時間）/月	約3時間/月	-81%
定型転記作業（1人あたり）	月40時間	月30時間（FTE換算0.25削減相当）	-25%
転記ミスによる手戻り	月8件	月1件以下	-88%
主要帳票の自動生成率	0%	80%自動化	—

「現場の実態を聞いてから設計してくれたので、使いにくさがありませんでした。ツールが変わった感覚より、仕事が楽になった感覚が先にきました。」

— C社 管理部長

Smart Operations Designプログラムのご紹介

「どのシステムを選べばいいかわからない」「ベンダーの言いなりになってしまう」—— 当社はベンダーニュートラルな立場で、現場起点のIT設計から導入定着まで一貫して支援します。

フェーズ	内容	期間	主な提供物
Phase 1：診断・設計	業務診断・要件定義・RFI/RFP作成	1～2ヶ月目	システム診断シート・要件定義書・RFI/RFPテンプレート
Phase 2：PoC設計・実施	ベンダー選定・PoC実行・効果検証	3ヶ月目	PoC実行計画書・ベンダー評価シート
Phase 3：導入支援	段階展開・現場定着サポート・KPI測定	4～6ヶ月目	導入プロジェクト計画書（WBS）・KPIモニタリングシート

■ 準備度セルフチェックリスト

以下の5項目で「はい」が3つ以下なら、無料診断セッションをご活用ください。

- 業務プロセスの非効率ポイントを現場レベルで把握している
- システム導入の要件を文書化した経験がある
- RFI/RFPのプロセスを理解している
- 現場担当者がIT推進に関与できる体制がある
- ベンダー評価基準（機能・コスト・サポート）を設定できる

無料・現場IT診断セッションに申し込む

60分のオンラインまたは現地訪問で、現場のボトルネックを特定します。
優先度付きITロードマップをその場でご提示します。
ベンダーとの利益相反は一切ありません。

プログラム料金：50～100万円（税別） / 3ヶ月集中プログラム

業種・規模・支援範囲により変動 / 詳細はLPページで確認 / まずは無料診断で概算をご確認ください

今すぐ無料診断を申し込む

担当：久田裕基（中小企業診断士 / 支援実績30社超）

お問い合わせ：info@creativequestlab.com | 受付：平日 9:00～18:00